

平成 29 年度 第 3 回香美市子ども・子育て会議
会議録要旨

【日 時】平成 30 年 2 月 15 日（水）18：30～19：25

【場 所】香美市役所 3 階会議室（301）

【出席委員】 12 名

武内委員、川越委員、福留委員、前田委員、田中委員、上島委員、春田委員、近藤委員、
松浦委員、日向委員、川俣委員、福石委員

【欠席委員】 3 名

五藤委員、森田委員、竹平委員

【事務局等】 6 名

時久教育長、横山課長、公文班長、宇根主幹、岡村主幹（教育振興課）
中岡主幹（子育て支援センター）

【要旨】

1. 開会

時久教育長の挨拶の後、会長により議事進行を行う。

2. 議事

（1）平成 30 年度保育所等利用定員について

事務局より平成 30 年度の保育所等の利用定員について資料により説明を行う。

〈質疑等〉

- ・面積定員に対して利用定員がだいぶ下回っているのはなぜか。
→これまでの利用状況とか次年度の進級を考えて利用定員を設定している。
- ・待機児童の理由で多いのは何か。
→年度途中で育休からの復職の際に保育所に入れないという理由が多いと思われる。
- ・国の待機児童調査へ計上されていないのはなぜか。
→以前までは育休は含めないことができていたが、今年度より定義が変わり復職の意思が確認できた場合に含めるとなった。現在は、復職の意志の確認ができていないということもあり含めていない。

3. その他

事務局より幼児教育の無償化について資料により説明を行う。

〈質疑等〉

- ・無償化により利用が増えると思うが対応は。
→現在でも主な無償化の対象となる 3～5 歳児については幼稚園や保育園を利用している子

どもが多いので、無償化になったからといって急激に増えるものではないと考えている。

その後、自由に意見交換を行う。

〈意見・質疑等〉

・0歳児の定員増加は難しいのか。

→これからの利用者数の動向を見て考える必要があるが、現状で限界近く受け入れているので、大幅な増加は難しいと考える。

・0歳児室が広すぎるように感じる。

→ベッドを並べて置く必要もあり広くしている。

・部屋を入れ替えるのは難しいのか。

→調乳室やほふく室など備えておくべき物が異なっているので難しい。

・保育士の配置状況はどうか。

→現状では最低基準よりも多く配置できている。

・三育ほっとハウスの0歳児の入所児童が定員に対して少ないと感じる。

→年度途中で生まれた子どもが年度途中で入ることが多く、年度当初は児童数が少ない。他の保育園の0歳児がいっぱいになった状況で選択されることが多い。

4. 閉会

横山課長の挨拶の後、閉会する。